

水道事業会計

令和元年度下半期 大竹市水道事業損益計算書

(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	209,228,414		
(2) その他営業収益	17,245,214	226,473,628	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	112,135,036		
(2) 給配水費	40,423,298		
(3) 業務費	18,925,943		
(4) 総係費	20,705,241		
(5) 減価償却費	148,145,451		
(6) 資産減耗費	4,280,516	344,615,485	
営業損失(△)			△ 118,141,857
3 営業外収益			
(1) 受取利息	37,280		
(2) 他会計補助金	1,643,638		
(3) 負担金	15,401,605		
(4) 長期前受金戻入	49,514,910		
(5) 資本費繰入収益	621,000		
(6) 雑収益	939,684	68,158,117	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	6,583,931		
(2) 雑支出	1,178	6,585,109	61,573,008
経常損失(△)			△ 56,568,849
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	0		
(2) 退職給付引当金戻入額	4,979,921	4,979,921	
6 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	48,370		
(3) その他特別損失	0	48,370	4,931,551
当期純利益			△ 51,637,298
前期繰越利益剰余金			204,374,053
その他未処分利益剰余金変動額			0
当期末未処分利益剰余金			152,736,755

令和元年度大竹市水道事業貸借対照表

(令和2年3月31日)

資産の部

1 固定資産	円	円	円	円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		203,423,489		
ロ 建物	333,648,578			
減価償却累計額	△ 127,061,942	206,586,636		
ハ 構築物	5,881,808,822			
減価償却累計額	△ 3,365,779,367	2,516,029,455		
ニ 機械及び装置	1,132,359,023			
減価償却累計額	△ 859,683,510	272,675,513		
ホ 車両運搬具	1,570,669			
減価償却累計額	△ 1,482,621	88,048		
ヘ 工具、器具及び備品	6,559,180			
減価償却累計額	△ 6,117,147	442,033		
ト リース資産	3,329,264			
減価償却累計額	△ 3,162,800	166,464		
チ 建設仮勘定		93,375,277		
有形固定資産合計			3,292,786,915	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権		6,927,437		
無形固定資産合計			6,927,437	
(3) 投資その他の資産				
イ 長期貸付金		660,000,000		
投資その他の資産合計			660,000,000	
固定資産合計				3,959,714,352
2 流動資産				
(1) 現金預金			1,475,020,225	
(2) 未収金		40,218,850		
貸倒引当金		△ 1,553,779	38,665,071	
(3) 貯蔵品			3,426,818	
(4) その他流動資産			343,214	
流動資産合計			1,517,455,328	
資産合計				5,477,169,680

負債の部

3 固定負債	円	円	円	円
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	592,013,841			
企業債合計		592,013,841		
(2) 引当金				
イ 修繕引当金	6,790,000			
ロ 退職給付引当金	52,425,000			
引当金合計		59,215,000		
固定負債合計				651,228,841
4 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	48,691,698			
企業債合計		48,691,698		
(2) 引当金				
イ 賞与引当金	4,693,509			
ロ 法定福利費引当金	898,359			
引当金合計		5,591,868		
(3) 未払金		101,898,615		
(4) その他流動負債		88,473,274		
流動負債合計				244,655,455
5 繰延収益				
長期前受金		2,414,925,659		
収益化累計額		△ 1,353,473,617		
繰延収益合計				1,061,452,042
負債合計				1,957,336,338

資 本 の 部

6 資 本 金	円	円	円	円
(1) 自 己 資 本 金				
イ 固 有 資 本 金	34,905,000			
ロ 組 入 資 本 金	<u>2,021,354,623</u>			
自 己 資 本 金 合 計			<u>2,056,259,623</u>	
資 本 金 合 計				2,056,259,623
7 剰 余 金				
(1) 資 本 剰 余 金				
イ 受 贈 財 産 評 価 額	151,787,510			
ロ 工 事 負 担 金	419,430,041			
ハ 他 会 計 負 担 金	199,424,065			
ニ 補 助 金	<u>74,495,348</u>			
資 本 剰 余 金 合 計			845,136,964	
(2) 利 益 剰 余 金				
イ 減 債 積 立 金	85,000,000			
ロ 建 設 改 良 積 立 金	380,700,000			
ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>152,736,755</u>			
利 益 剰 余 金 合 計			<u>618,436,755</u>	
剰 余 金 合 計				<u>1,463,573,719</u>
資 本 合 計				<u>3,519,833,342</u>
負 債 資 本 合 計				<u>5,477,169,680</u>

令和元年度下半期 注記表

I 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く。)

- ・ 減価償却の方法

定額法

- ・ 主な耐用年数

建物 38 ～ 65 年

構築物 10 ～ 60 年

機械及び装置 5 ～ 40 年

車両運搬具 2 ～ 5 年

工具、器具及び備品 3 ～ 20 年

(2) 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法(リース資産を除く。)

定額法

- ・ 耐用年数

施設利用権 15 ～ 20 年

(3) リース資産

- ・ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

- ・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

地方公営企業法施行規則第55条第2号の規定により、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

- ・ 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における職員に対する退職手当の要支給額(55,616,000円)から、広島県市町総合事務組合における積立金相当額(3,191,000円)を控除した金額を計上している。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

- ・ 職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

- ・ 債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等により回収不能見込額を計上している。

(4) 修繕引当金

- ・ 平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととしている。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II 貸借対照表等関連

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は39,521,440円である。

III リース契約により使用する固定資産

賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に関する事項

未経過リース料相当額

1年内 5,601,411 円

1年超 16,723,233 円

計 22,324,644 円

IV その他の注記

賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

令和元年度において、期末勤勉手当を支給するため、賞与引当金4,999,816円、法定福利費引当金958,274円を取り崩した。

貸倒引当金の取崩し

令和元年度において、不納欠損処理のため、227,891円を取り崩した。

令和元年度下半期 大竹市水道事業報告書

1. 概 況

(1) 総括事項

水道事業は、給水人口の減少等による使用水量の減少に伴って、料金収入が年々減少傾向にあり、経営的には非常に厳しい状況となっています。

今年度においては、分岐負担金の増加及び経費の削減等の取組により、黒字とはなりましたが、営業収支では依然として営業損失を計上しており、より一層の経費の削減等による経営の健全化が求められます。

水道事業の財政運営は、今後も一段と厳しいものになっていくものと想定されますが、施設の更新、耐震化を計画的・効率的に推し進め、水道事業のあるべき姿である「いつでも安全で安定した水の供給」の実現に向けてさらに取り組んでいきます。

① 営 業

令和元年度下半期の有収水量は、1,605,600^m³（1日平均8,726^m³）で、令和元年度上半期と比較して14,993^m³（0.9%）の増加となりました。

② 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

本年度下半期に実施した主な工事は、以下のとおりです。

・港町一丁目地内配水管改良工事(1工区)	25,473,800円
・小方一丁目地内配水管改良工事（R1工区）	25,999,600円
・三ツ石調整池遠方監視装置更新工事	13,642,000円

③ 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

令和元年度下半期における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	299,611,666円
(消費税及び地方消費税抜き)	支出総額	351,248,964円
	差引利益額	▲51,637,298円
資本的収支	収入総額	61,020,270円
(消費税及び地方消費税込み)	支出総額	149,036,638円
	差引不足額	88,016,368円

(2) 議会の議決事項

① 予算決算に関する事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第 9号	令和2年度大竹市水道事業会計予算	R2. 3. 27

② 条例に関する事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第19号	一般職の職員の給与に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	R2. 3. 11
議案第26号	大竹市水道事業，工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	R2. 3. 11

(3) 職員に関する事項

① 職員の平均給与

平均給料月額	平均年齢	平均勤続年数	人員	備考
329, 894	44歳9ヶ月	15年10ヶ月	9名	

② 市長の同意を必要とする主要職員の任免

該当事項なし

③ 給与改定

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正に伴う「大竹市上下水道局職員の給与の支給に関する規程」の一部改正により給料表を改定し，平成31年4月1日から施行しました。

(4) 料金その他供給条件の設定，変更に関する事項

消費税率及び地方消費税率の改定に伴い，令和元年10月1日から税率引き上げを料金に転嫁しました。

2. 工事の概況

(1) 建設工事及び改良工事の概況

※令和元年度通期

工 事 名	工 事 内 容	総工事費	着工期日 竣工期日	備 考
(原水浄水設備改良事業)		円	年月日	
防鹿水源地1号緩速ろ過池濁度計更新工事	1号緩速ろ過池濁度計取替 一式	1,069,200	H31. 4.11 R 1. 7.31	
防鹿水源地1号緩速ろ過池水位計更新工事	1号緩速ろ過池水位計取替 一式	864,000	H31. 4.23 R 1. 8.30	
防鹿水源地上水4号取水井戸ポンプ更新工事	上水4号取水井戸ポンプ取替 一式	1,296,000	R 1. 7. 3 R 1. 8. 9	
三ツ石調整池遠方監視装置更新工事	三ツ石調整池監視盤(BK-2)更新 一式 調整池制御盤(BK-1)PLCテレコン装置更新 一式 データロガ装置機能更新増設 一式	13,640,000	R 1.10.16 R 2. 3.13	
小 計		16,869,200		
(配水設備拡張事業)		円	年月日	
岩国市・大竹市連絡管布設工事(R1工区)	配水管布設工 ホリエレン管(HPPEφ150) L=40.2m ホリエレン管(HPPEφ75) L=13.86m	4,173,400	R 1. 9.10 R 2. 2.28	
立戸二丁目地内配水管拡張工事	配水管布設工 ホリエレン管(HPPEφ50) L=62.0m	2,574,000	R 2. 1.20 R 2. 3.27	
小 計		6,747,400		
(配水設備改良事業)		円	年月日	
元町一丁目地内配水管改良工事	配水管布設工 ホリエレン管(HPPEφ50) L=53.5m 既設管撤去工 塩化ビニル管(VPφ50) L=15.9m	1,285,200	R 1. 5.31 R 1. 7.31	
元町一丁目地内配水管改良工事(R1-2工区)	配水管布設工 ホリエレン管(HPPEφ50) L=53.5m 既設管撤去工 塩化ビニル管(VPφ50) L=15.9m	1,188,000	R 1. 9. 2 R 2. 3.27	
松ヶ原高区・低区配水池次亜注入器更新工事	次亜注入ポンプ取替 一式	555,500	R 1.10.10 R 2. 1.10	
小方一丁目地内配水管改良工事(R1工区)	配水管布設工 鋳鉄管(DCIP GXφ200) L=87.1m ホリエレン管(HPPEφ50) L=334.2m 既設管撤去工 鋳鉄管(CIPφ200) L=87.0m 塩化ビニル管(VPφ25) L=25.0m モルタル充填工 鋳鉄管(CIPφ75) L=20.0m 塩化ビニル管(VPφ50) L=150.0m 塩化ビニル管(VPφ40) L=90.0m	25,999,600	R 1.10. 7 R 2. 2.28	
御園第一配水池流入電動弁更新工事	流入電動弁取替 一式	2,640,000	R 1.11.11 R 2. 3.27	
港町一丁目地内配水管改良工事(1工区)	配水管布設工 ホリエレン管(HPPEφ150) L=236.98m ホリエレン管(HPPEφ100) L=4.96m ホリエレン管(HPPEφ50) L=40.19m 硬質塩化ビニル管(HIVPφ25) L=2.80m 既設管撤去工 鋳鉄管(MDIPφ100) L=70.00m 塩化ビニル管(VPφ50) L=140.00m	25,473,800	R 1.11.11 R 2. 3.31	
大竹配水池循環ポンプ設置工事	循環ポンプ取付 一式	1,276,000	R 1.11.25 R 2. 3.20	

工 事 名	工 事 内 容	総工事費	着工期日 竣工期日	備 考
小方一丁目地内配水管 改良工事 (R1-2工区)	配水管布設工 ポリエチレン管 (HPPE φ 50) L=1.4m 既設管撤去工 塩化ビニル管 (VP φ 50) L=4.3m	1,199,000	R 2. 2.17 R 2. 3.27	
阿多田本浦配水池配水 流量計更新工事	流量計取替 一式	896,500	R 2. 3. 2 R 2. 3.31	
岩国大竹道路事業に伴 う送配水管・工業用水 道管移設工事 (水道事業会計分)		13,444,000	R 1.12.13 R 2. 8.31	令和2年度へ繰越 (総工事費は前払分)
小 計		73,957,600		
合 計		97,574,200		

(2) 保存工事の概況

※令和元年度通期

区 分	工 事 内 容	工 事 費			備 考
		修繕費等	材料費	計	
原 水 及 び 浄 水 設 備	防塵水源内上水No.1取 水ポンプ・上水No.1送水 ポンプ修繕外9件	14,719,440	0	14,719,440	
給 配 水 設 備	湯舟第1配水槽水位指示 計盤改修外47件	19,717,489	0	19,717,489	
量 水 器 設 備	量水器取替工事 (委託)	3,513,394	0	3,513,394	
合 計		37,950,323	0	37,950,323	

3. 量水器の設置及び取替状況

種 別	前年度末 設置数	当 年 度 設置数	当 年 度 減少数	年度末現在 設置数	当 年 度 取替個数
13mm	8,002	245	23	8,224	511
20mm	6,053	55	1	6,107	621
25mm	659	1	0	660	4
40mm	190	1	0	191	25
50mm	86	0	0	86	3
75mm	24	0	0	24	4
100mm	14	0	0	14	2
150mm	3	0	0	3	1
合計	15,031	302	24	15,309	1,171

3. 業 務

(1) 業務量

① 年度末給水戸数及び給水人口

年度別	令和2年3月31日		令和元年9月30日		比 較			
種 別	給水戸数	給水人口	給水戸数	給水人口	給水戸数		給水人口	
					増 減	比 率	増 減	比 率
上水道	戸 12,619	人 26,298	戸 12,519	人 26,360	戸 100	% 100.8	人 △ 62	% 99.8

② 配水量及び有収水量

種 別	年度別	令和元年度下半期	令和元年度上半期	比 較	
		増 減	比 率	増 減	比 率
配水量	水源地	m ³ 1,652,820	m ³ 1,649,340	m ³ 3,480	% 100.2
	県用水	399,110	363,109	36,001	109.9
	合 計	2,051,930	2,012,449	39,481	102.0
1日平均配水量		11,152	11,119	33	100.3
1日最大配水量		R1.12.31 12,542	H31.2.4 12,217	325	102.7
有収水量		1,605,600	1,590,607	14,993	100.9
1日平均有収水量		8,726	8,788	△ 62	99.3
有収率		78.2%	79.0%	-0.8%	99.0

※上水道は、2ヶ月後に料金が賦課されるので、配水量は2月から1月までが年度期間。

5. 会 計

(1) 重要契約の要旨

① 工事請負契約

※令和元年度通期

契約年月日	契 約 額	契 約 内 容	契約の相手方
R1. 10. 7	円 22,880,000	小方一丁目地内配水管改良工事 (R1工区)	(株)竹内 大竹営業所
R2. 2. 3	3,119,600 (25,999,600)		
R1. 10. 16	13,640,000 (13,640,000)	三ツ石調整池遠方監視装置更新工事	(株)明電エンジニアリング 中国支店
R1. 11. 11	20,735,000	港町一丁目地内配水管改良工事 (1工区)	(株)プロ・コーポレーション
R2. 2. 10	-		
R2. 3. 24	4,738,800 (25,473,800)		
R1. 12. 13	84,040,000 (84,040,000)	岩国大竹道路事業に伴う送配水管・工業用水道管 移設工事	(株)竹内 大竹営業所
	33,172,822	上記のうち水道事業対象額	

二段書きは上段が当初契約，下段が変更契約，（）内は合計額

② 業務委託契約

※令和元年度通期

契約年月日	契 約 額	契 約 内 容	契約の相手方
H27. 3. 18	円 511,920,000	大竹市防鹿水源地等運転管理業務 (工業用水道事業との共同契約額) 契約期間：H27. 4. 1～R2. 3. 31	(株)ジェイ・チーム 西部支店
H28. 3. 31	△194,922		
H29. 3. 31	△3,237,890		
H30. 3. 31	722,632		
H31. 3. 31	4,438,703		
R1. 10. 1	2,764,100		
R2. 3. 31	3,077,366 (519,489,989)		
	76,902,616	上記のうち令和元年度水道事業対象額	
R1. 5. 31	16,500,000 (16,500,000)	大竹市水道・工業用水道・下水道事業 経営戦略策定等業務 (工業用水道事業・公共下水道事業との共同契約額) 契約期間：R1. 5. 31～R3. 2. 26	(株)N J S 広島事務所
	1,650,000	上記のうち令和元年度水道事業対象額	

多段書きは上段が当初契約，二段目以降が変更契約，（）内は合計額

③ その他の契約

※令和元年度通期

契約年月日	契約額	契約内容	契約の相手方
H30. 10. 25	円 38,536,560 (38,536,560) 5,944,548	大竹市上下水道料金システム及び大竹市公営企業会計システム等一式に係る賃貸借契約 (工業用水道事業・公共下水道事業との共同契約額) 契約期間：H30. 10. 25～R6. 3. 31 上記のうち令和元年度水道事業対象額	(株)日立システムズ 中国支社 日立キャピタル(株)

二段書きは上段が当初契約，下段が変更契約，（）内は合計額

(2) 企業債及び一時借入金の概況

① 企業債の概況

※令和元年度通期

区分	借入先	前年度末残高	当年度借入高	当年度償還高	当年度末残高
水道事業	財務省	円 159,027,498	円 0	円 22,507,472	円 136,520,026
	地方公共団体 金融機構	504,168,772	25,000,000	24,983,259	504,185,513
	合計	663,196,270	25,000,000	47,490,731	640,705,539

② 一時借入金の概況

該当事項なし

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

(4) 受贈財産の取得状況

※令和元年度通期

受贈年月日	種類		譲渡者名	受贈財産評価額
R1. 6. 20	配水管	東栄一丁目地内 H P P E φ50 L=38.7m H I V P φ25 L= 4.4m ソフトシル仕切弁 φ50 1基 (BOX含む) プレイングートバルブ 1基 (BOX含む)	ワンダフルホーム(株)	円 634,570
R1. 9. 24	配水管	白石一丁目地内 H P P E φ50 L=42.96m H I V P φ25 L= 1.5 m ソフトシル仕切弁 φ50 1基 プレイングートバルブ 1基	中日販売ホーム(有)	1,743,200
合 計				2,377,770